

浦添市景観向上行動計画(改定版)

概要版

令和6年10月

浦添市 建設部 美らまち推進課

■計画の背景

浦添市では、景観法に基づく景観行政団体となりH19年度には市民協働による「浦添市景観まちづくり計画」を策定しました。その中で浦添グスク周辺エリアと西海岸及び港川周辺エリアを先導的エリアと位置づけながら市全域を対象として、協働の景観まちづくりの推進といった立場をより強化し、沖縄県21世紀ビジョン基本計画に規定される「沖縄らしい風景づくりの推進」に取り組んできました。

平成24年に策定された浦添市景観向上行動計画は、道路、公園・緑地、文化財、都市計画、景観まちづくり等との連携・協力のもと、時間とともに価値が高まるまちづくりを目指すとともに、浦添らしい風景の保全・再生・創出を図り、誇りと愛着のあるまちづくりを実現するため、景観にかかる必要な取り組み等を明らかにしたものです。また、景観にかかるそれぞれの取り組みにより、相乗効果が図れるよう、行動計画の体系及び成果目標を示し、関連分野における横断的なアクションプランとしての役割を担うものになります。

現行計画の策定から10年以上経過したなか、本市総合計画、本市景観まちづくり計画、緑の基本計画等の上位・関連計画の見直しや沖縄県屋外広告物条例の権限移譲が行われるとともに、浦添グスク周辺や西海岸・港川周辺エリアの重点的な景観施策等により良好な景観形成の推進が図られてきました。

本計画は、現行計画の計画期間を終了したことから、中長期的な浦添の望ましい景観の将来像を描き、その実現に向けて、関係機関及び団体の相互がより強化・連携を図り、官民一体となって本市の風景づくりに取り組むことを目的に、風景づくりに関する今後10年間のアクションプログラムを取りまとめるものです。

■計画策定の目的

- ・ 浦添グスク周辺エリアと西海岸及び港川周辺エリアを先導的エリアと位置付けながら市全域を対象として、協働の景観まちづくりを推進する。
- ・ 新・沖縄県21世紀ビジョン基本計画や第五次浦添市総合計画に示される景観まちづくりに取り組む。
- ・ 道路、公園・緑地、文化財、都市計画、観光、跡地利用、景観まちづくり等の相互が連携した景観まちづくりの推進。

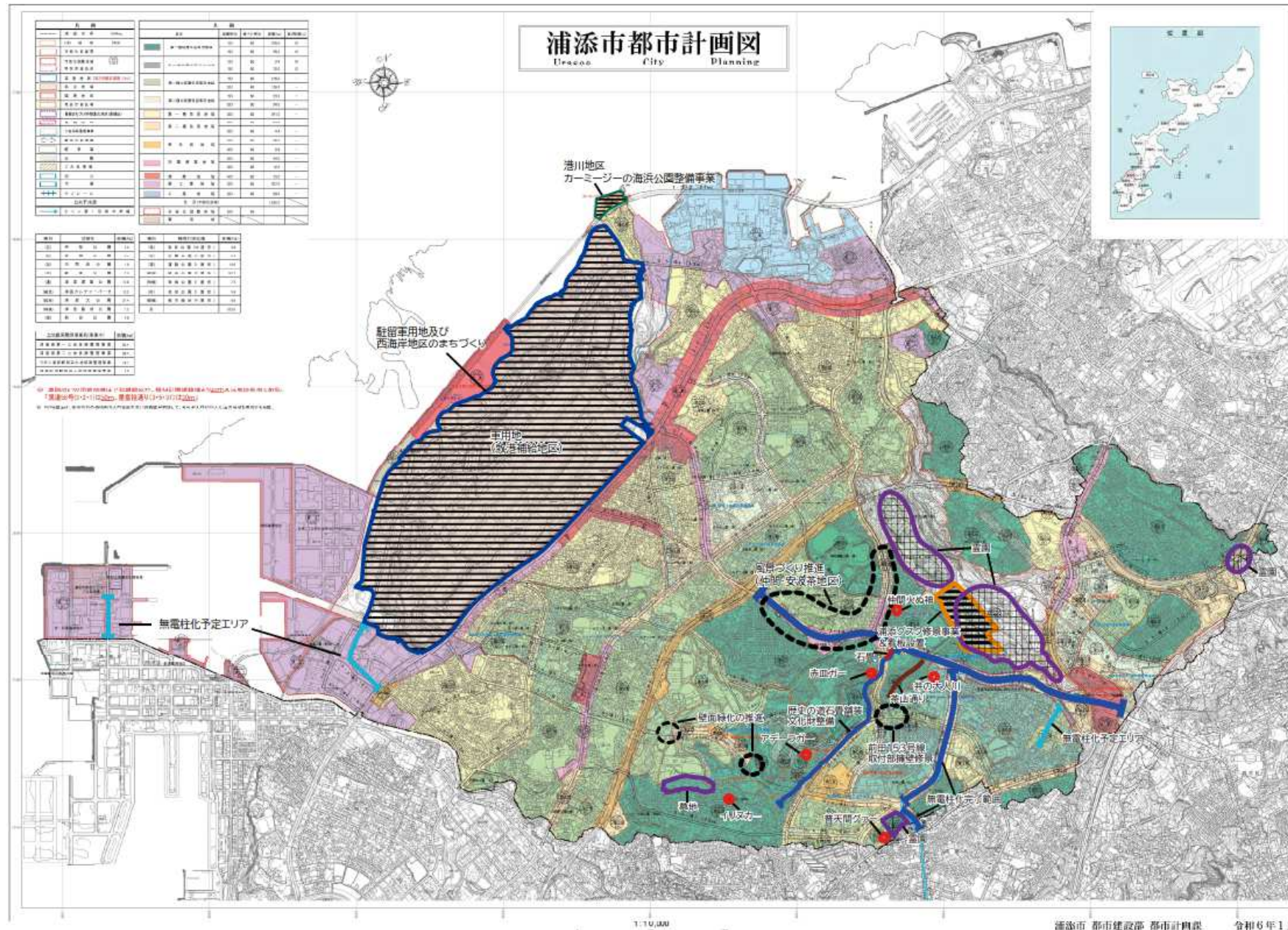
■計画期間

本計画の計画期間は令和6年から令和15年までとする。

2.現計画から現在までの変化

(1)社会動向

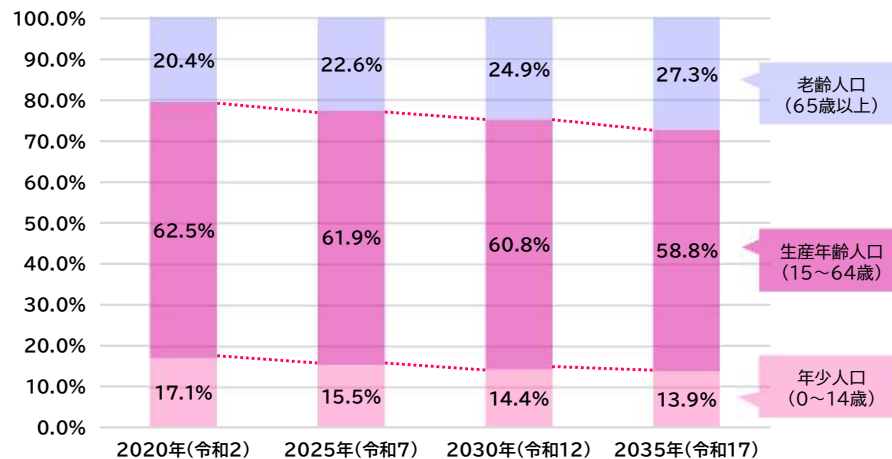
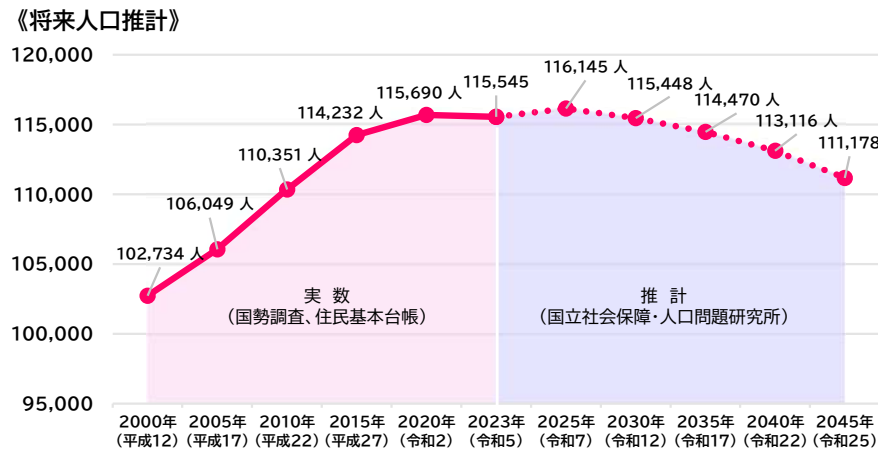
- 現計画策定時期(H26)と比較すると、令和5年までに多くの事業が浦添市内で取り組まれている。



2.現計画から現在までの変化 (2)人口と観光客数の変移

浦添市の人口推移

- 全国的に人口減少下にある中で、本市の人口は増加傾向が続いており、2035(令和17)年には、概ね11万4千人を見込む。
- 一方で、年齢3区分別人口は、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15歳～64歳)は減少し、老年人口(65歳以上)が増加をしていく見通しであり、2035年に27.3%になる見通し。



出典：国立社会保障・人口問題研究所

- 新型コロナウイルス感染症流行の令和2年1月以降は観光客数が激減したが、令和4年になり回復傾向にある。
- 令和4年度の入域観光客数は、677万4,600人となり、対前年同期比で350万300人、106.9%の増加となっている。

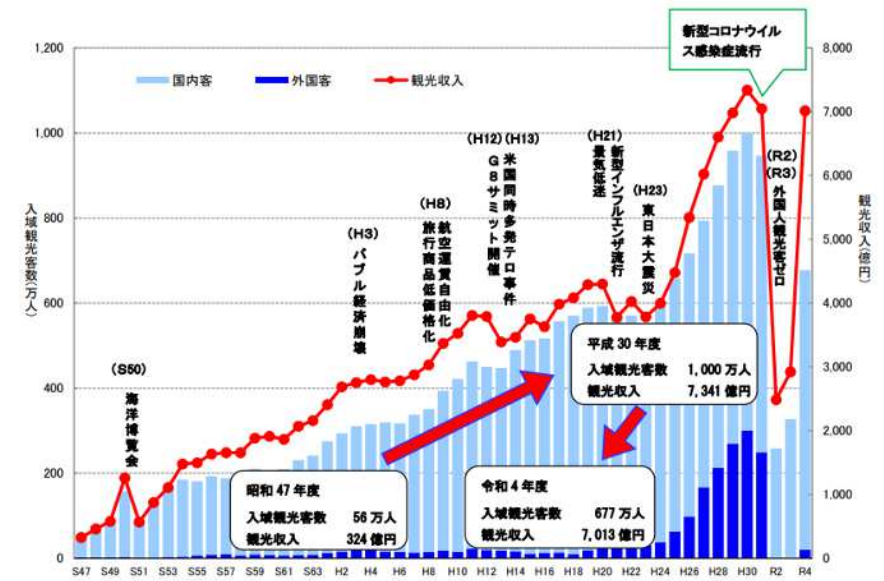


図 入域観光客と観光収入の推移(年度毎)

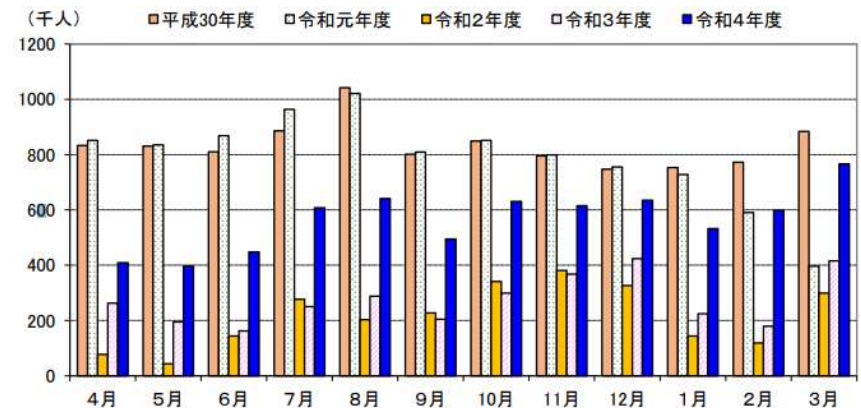


図 月別入域観光客数の推移(令和4年度)

出典：沖縄県「令和4年度 沖縄県入域観光客統計概況」

2.現計画から現在までの変化

(3)SDGs

浦添市のSDGs

- 「第五次浦添市総合計画」の中で浦添市は、国際社会全体の開発目標であるSDGsのめざす17の目標(ゴール)を踏まえて、持続可能な地域社会づくりに取り組んでいくため、基本計画の施策分野ごとに関連する主な目標を関連付けて、一体的な推進をしていくことを示している。
- 国の「SDGsアクションプラン」や沖縄県の「沖縄SDGs実施指針」等も参考に取り組む。

SDGsの目標	目標のターゲット(一部抜粋)	総合計画の施策との対照
目標9:産業と技術革新の基盤をつくろう 	- 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。 - 地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出する。	施策1-1:産業振興 施策1-2:観光振興 施策1-5:土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用 施策1-6:道路・交通体系 施策1-7:上下水道 等
目標11:住み続けられるまちづくりを 	- 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエンス)かつ持続可能にする。 - 包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。	施策1-1:産業振興 施策1-2:観光振興 施策1-4:西海岸地域の開発 施策1-5:土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用 施策1-6:道路・交通体系 施策1-7:上下水道 等
目標12:つくる責任つかう責任 	- 人びとがあらゆる場所で、持続可能な開発や、自然と調和した暮らし方に関する情報と意識を持つようにする。 - 地域に仕事を生み出したり、地方の文化や特産品を広めるような持続可能な観光業に対して、持続可能な開発がもたらす影響をはかるための方法を考え、実行する。	施策2-7:文化財 施策4-3:地域防犯・交通安全・消費者安全 施策4-4:みどり(緑)・自然(海・川) 施策4-6:環境保全 施策4-7:循環型社会・生活排水 施策5-5:スマート自治体 等
目標15:陸の豊かさを守ろう 	- 森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。 - 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。 - 外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。	施策1-1:産業振興 施策1-4:西海岸地域の開発 施策2-7:文化財 施策4-4:みどり(緑)・自然(海・川) 施策4-5:景観まちづくり 施策4-7:循環型社会・生活排水

3.現計画の点検・評価

- 現行動計画の推進プログラムについて、計画期間(H24d～R3d)の満了に伴い評価する。

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標1：浦添に相応しいまちなみ景観の形成																
1)浦添グスクの周辺に相応しいまちなみ景観の形成																
①地域住民との合意形成によるまちなみのルールづくりを進める																
	風景づくり推進調査業務委託（シンボルロード・都市モノ沿線地区等）	沖縄都市モノレール延長事業や県道浦添西原線の拡幅整備等に伴い、景観の変容が懸念されるため、景観法や都市計画法に基づく景観地区や地区計画等の地区指定にむけて、地域住民によるワークショップや協議会等を通して、沿道景観のあり方や浦添グスクにふさわしい風景づくりについて検討等を行う。	景観まちづくり室	調査検討 （都市モノ沿線地区・茶山地区）	計画策定 （グスク周辺地区）				計画策定 （シンボルロード・都市モノ沿線地区）				○		沖縄らしい風景づくり推進事業	2
	風景づくり推進調査業務委託（仲間・安波茶地区等）	県道浦添西原線の拡幅整備等に伴い、景観の変容が懸念されるため、景観法や都市計画法に基づく景観地区や地区計画等の地区指定にむけて、地域住民によるワークショップや協議会等を通して、沿道景観のあり方や浦添グスクにふさわしい風景づくりについて検討（重点地区から景観地区への移行等）を行う。	景観まちづくり室						調査検討	方針案策定	計画策定		○		沖縄らしい風景づくり推進事業	3
	風景づくり推進調査業務委託（第4駅周辺地区）	第四駅（（仮称）浦西駅）周辺における景観地区や地区計画等の地区指定にむけた検討を行う。	景観まちづくり室					調査検討	方針案策定	計画策定			○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1
②まちなみを形成する建築物や工作物の素材や建築技術を探求する																
	風景街なみ形成に資する建築技術提案事業	都市モノレール延長計画に伴う沿線拡幅計画に併せて、街なみを形成する建築素材や技術提案を受ける。	景観まちづくり室	基本方針	技術提案								○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
③重点地区や景観地区等の地区（仲間、茶山、前田等）におけるまちなみの向上を図るため、屋根瓦、石積み・石張り、生垣等の修景助成を行う																
	まちなみ景観支援	重点地区や景観地区等の地区（仲間、茶山、前田等）におけるまちなみの向上を図るため、屋根瓦、石積み・石張り、生垣等の修景助成を行う。	景観まちづくり室					修景助成					○		沖縄らしい風景づくり推進事業	2

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標1：浦添に相応しいまちなみ景観の形成																
2)浦添の西海岸に相応しいまちなみ景観の形成																
①海岸や緑を活かした都市リゾートの景観創出等のルールづくりを進める																
		風景づくり推進調査業務委託	都市機能用地地区の景観地区指定に向けた修景及びカーミー・シリンカー周辺地区の景観地区指定、重要公共施設指定に向けた検討を行う。	景観まちづくり室	景観形成基準策定（都市機能用地地区）→	基本方針策定（カーミー・港川城間地区）→			計画策定					○	沖縄らしい風景づくり推進事業	1
3)屋外広告物等の景観阻害要因の抑制																
①浦添市屋外広告物条例による民間における屋外広告物のルールづくりを進める																
		浦添市屋外広告物条例策定業務	民間における屋外広告物の適正化を図り推進するため、市内における屋外広告物の現状把握、県内外事例の資料収集や関連法等の整理等を行い、「浦添市屋外広告物条例（仮称）」の案の作成を行う。	景観まちづくり室					計画策定			○			【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1
4)良好な景観形成に関する調査研究等の促進																
①浦添の風景づくりに関して、景観整備機構に良好な景観形成に関する調査研究等を促進する																
		風景づくり推進調査業務委託（景観整備機構	浦添の風景づくりに関する景観整備機構（景観行政と地域住民のパートナー）としての役割を担うため、建築の専門を活かした浦添の風景づくりにふさわしい景観創造の技法等の調査研究を行い、行政や地域住民への情報提供やコーディネート等を促進する。	景観まちづくり室					計画策定				○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1
5)総合的で計画的な緑地保全及び緑化推進																
①花と緑にあふれた安らぎと潤いあるまちづくりの計画・施策を作成（改訂）する																
		浦添市緑の風景づくり計画推進事業	浦添市における緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定めるため、緑地率等の現状把握や市内の事業計画の整理（基礎調査）等を行い、「（仮称）浦添市緑の風景づくり（ティードナファみどり）計画」を作成する。	美らまち推進課					基礎調査	計画策定		○			【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標1：浦添に相応しいまちなみ景観の形成																
6)総合的で計画的な景観まちづくりの推進																
①てだこ市民によるウラオソイ風景づくりに関する計画・施策を作成（改訂）する																
		浦添市景観まちづくり計画策定	平成19年度の「浦添市景観まちづくり計画」の策定から、沖縄都市モノレール延長整備事業や県道浦添西原線の拡幅整備、那覇港（浦添ふ頭地区）公有水面埋立事業、臨港道路・浦添線など主要事業が進展しており、計画の見直しが必要となっていることから、景観法に基づく「浦添市景観まちづくり計画」（景観計画）を作成する。	景観まちづくり室						計画策定 →		○			【新規】 沖縄らしい風景づくり推進事業	1
目標2：地域住民による地域への愛着の向上と来訪者の利活用の向上																
1)浦添のシンボル（魅力）の向上																
①浦添のシンボルであるワカリジーや浦添グスクの魅力を向上させる																
		浦添グスク修景事業	世界遺産追加登録を目指す浦添グスクの魅力向上を図るため、ワカリジーや城壁等の夜景ライトアップや桜並木の植栽等の検討調査、実施設計、工事等を行う。	景観まちづくり室						調査 → 実施設計等		○			【新規】 沖縄らしい風景づくり推進事業	2
		浦添小学校フェンス緑化等の修景整備	浦添大公園内の園路整備（浦添グスク南側アクセス路）が進められているが、浦添小学校のフェンスがむき出しとなっているため、緑化等による修景整備を行う。	景観まちづくり室					修景整備等 →			○			【新規】 沖縄らしい風景づくり推進事業	1
2)地域固有の資源（歴史・文化、自然等）を活かした連続性・周遊性の確保																
①浦添グスクから首里城や普天満宮、牧港方面等の歴史の道（中頭方西海道、普天満参詣道等）を感じさせる																
		歴史の道石畳舗装	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道（歴史の道）の石畳敷設や文化財等説明板設置、仲間地区内等の文化財（安波茶樋川・クバサーヌ御嶽・仲間火又神）整備を行う。	文化課	設計 → ※H24～25は浦添グスクから南側（経塚の碑等）の市道部分	工事 →		設計 → ※H27～28は安波茶交差点から北側	工事 →	設計・工事 →		○			沖縄らしい風景づくり推進事業	2
		整備計画策定	安波茶から牧港の中頭方西海道の周辺における文化財等の整備計画を作成する。	文化課					調査 →	策定 →		○	○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標2：地域住民による地域への愛着の向上と来訪者の利活用の向上																
2)地域固有の資源（歴史・文化、自然等）を活かした連続性・周遊性の確保																
②浦添グスク周辺地域の歴史・文化資源の保全・活用の整備を図る																
			看板設置（文化財等説明板設置等）	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道（歴史の道）の石畳敷設や文化財等説明板設置、仲間地区内等の文化財（安波茶樋川・クバサーヌ御嶽・仲間火ヌ神）整備を行う。	文化課		設置 → 玉城朝薫の墓	設置 → おもろの碑	設置 → 牧港のティラブのガマ	設置 → 屋富祖のガマジュマル等			○		沖縄らしい風景づくり推進事業	3
			文化財整備（安波茶樋川）	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道（歴史の道）の石畳敷設や文化財等説明板設置、仲間地区内等の文化財（安波茶樋川・クバサーヌ御嶽・仲間火ヌ神）整備を行う。	文化課	発掘調査 →	実施設計 →		用地購入 →	工事・監理 →			○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			文化財整備（クバサーヌ御嶽）	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道（歴史の道）の石畳敷設や文化財等説明板設置、仲間地区内等の文化財（安波茶樋川・クバサーヌ御嶽・仲間火ヌ神）整備を行う。	文化課		発掘調査 → 実施設計		用地購入 → 工事・監理				○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			文化財整備（仲間火ヌ神）	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道（歴史の道）の石畳敷設や文化財等説明板設置、仲間地区内等の文化財（安波茶樋川・クバサーヌ御嶽・仲間火ヌ神）整備を行う。	文化課					発掘調査 → 実施設計	工事 →		○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			井の大人川及び夫婦川の文化財整備	浦添南第一地区の区画整理事業区域内等における地域の文化資源（湧水・村ガ－等）の調査・整備を行う。	区画整理課					発掘調査 → 実施設計等			○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	2
			アデーラガー（あでら川）の文化資源整備	アデーラガー（あでら川）は沢岬小学校北側から浦添工業高校へ広がる緑地（浦添南第二地区の区画整理事業区域内）に位置し、周辺の都市緑地と整合性を図りながら、整備を行う。	区画整理課					発掘調査 → 実施設計等			○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	4
			前田・真地の普天間権現等の普天満グァーの文化資源整備	平成20年の普天満グァーの文化的価値に関する調査等を踏まえ、浦添南第一地区の区画整理事業区域内等における文化資源（普天満グァー）の調査・整備を行う。	区画整理課					発掘調査 → 実施設計等			○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	2

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※	
目標2：地域住民による地域への愛着の向上と来訪者の利活用の向上																	
	2)地域固有の資源（歴史・文化、自然等）を活かした連続性・周遊性の確保																
	③歴史文化資源を活用できるよう、環境整備する																
		ありんくりんク リーン事業	史跡浦添城跡などの城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するため、文化財の清掃・除草、安全対策等の環境整備を行う。	文化課												関連パッケージ事業（あまくま歩っちゃん推進事業）	2
	④地域への愛着を高めるため、歴史・文化ガイダンス施設の情報発信を強化する																
		歴史・文化ガイ ダンス強化事業	国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実を図る。具体的には浦添市の歴史・文化を理解しやすくするためにガイダンス施設の展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史・文化に関する情報発信の強化を図る。	文化課	<展示物作成> 作成 作成 作成 作成 <文化財案内マップ等作成> 作成 作成 作成 作成 <歴史・文化情報発信等強化> 委託 委託 委託 委託 購入									○	関連パッケージ事業（歴史と文化の薫るまち浦添）	2	
	⑤視認性や景観に配慮した浦添市の公共サインの適正化を図る																
		浦添市公共サイン 基本計画策定業務	わかりやすく、景観に配慮した浦添市の公共サインの適正化を図るため、車両系や歩行者系の公共サイン(案内、誘導、解説、名称等)のあり方や整備手法等を定めた「浦添市公共サイン基本計画」の作成を行う。	景観まちづくり室					計画策定							○	【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業
目標3：地域の魅力を活かし、公共事業等を通じた創造的な景観まちづくり																	
	1)浦添グスク周辺や西海岸にふさわしいシンボル（道路や拠点施設等）の景観整備や賑わい・交流空間の創出																
	①浦添の顔となるシンボルロード（都市軸）の景観整備を促進する																
		景観重要公共施設の指定（県道浦添西原線等）	シンボルロードとして位置づけられている県道浦添西原線の拡幅整備等に伴い、景観重要公共施設の指定にむけた検討等を行う。	景観まちづくり室					指定の検討等						○	○	【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標3：地域の魅力を活かし、公共事業等を通じた創造的な景観まちづくり																
1)浦添グスク周辺や西海岸にふさわしいシンボル（道路や拠点施設等）の景観整備や賑わい・交流空間の創出																
②（仮称）前田駅北側の景観まちづくりに資する利活用の方策を検討する																
			（仮称）前田駅北側交流広場検討調査業務	（仮称）前田駅の北側は景観や賑わい創出・地域交流の観点から重要であるため、交流広場のあり方や整備手法等の検討を行う。	景観まちづくり室								○		関連事業	2
③浦添グスク周辺にふさわしい道路美装化や道路修景整備を実施する																
			浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	浦添グスクの麓の仲間地区の景観向上を図るため、地区内の道路美装化（散策路整備工事）を行う。	道路課	2,660㎡ →	1,930㎡ →	750㎡ →	750㎡ →	750㎡ →	2,000㎡ →		○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			茶山中通り美装化事業	浦添グスクの麓にある茶山地区の街なみの向上や地域からの要望に対応するため、茶山地区の中通り（地域のシンボルロード）の美装化等の構想・計画・実施・整備を行う。	道路課		基本構想 策定 →				実施設計・設計 工事 →→		○		沖縄らしい風景づくり推進事業	4
			前田トンネル周辺修景事業	沖縄らしい風景を守るため、前田トンネルの両側にそびえるコンクリート壁を中心に壁面緑化やレリーフを用い植栽を含めた一体的な修景整備を行う。	区画整理課	→	→						○		沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			前田線トンネル修景整備	沖縄らしい風景を守るため、道路整備が進められている前田線のトンネルの修景整備を行う。	区画整理課				(トンネル工事) →	修景 →			○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1
			前田線153号取付部擁壁修景	前田線153号取付部に擁壁が生じるため、その修景を行う。	区画整理課						擁壁修景 →		○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	2
			沢岷石嶺線1号トンネル（仮称）及び沢岷石嶺線2号トンネル（仮称）の壁面緑化等の修景	沢岷石嶺線は、国道330号と県道153号線を結ぶ道路で、延長1233m、幅員30mの計画道路であり、当路線にはトンネルが2箇所（浦添南第二地区の区画整理事業区域内）あり、延長がそれぞれ137m（1号トンネル）、331m（2号トンネル）、上下車線で2本のトンネルを有する「メガトンネル」となる。沖縄らしい風景を守るため、トンネルの修景整備（計4カ所）を行う。	区画整理課						擁壁修景 →		○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	4

※評価の基準： 1.事業完了 2.継続事業 3.一時中断 4.未着手

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価※
目標3：地域の魅力を活かし、公共事業等を通じた創造的な景観まちづくり																
1)浦添グスク周辺や西海岸にふさわしいシンボル（道路や拠点施設等）の景観整備や賑わい・交流空間の創出																
④（仮称）カーミージー海浜公園の拠点整備の促進やその拠点施設の景観整備を進める																
		（仮称）カーミージーの海浜公園整備事業	浦添市港川周辺の自然海岸（通称・カーミージー）を生かした公園を整備する。	企画課				基本設計	実施設計	用地・物件補償及び工事				○	関連事業	3
		景観重要公共施設の指定（（仮称）カーミージーの海浜公園）	カーミージーの海浜公園整備に伴い、景観重要公共施設の指定にむけた要件やガイドラインの設定、事前協議等を行う。	景観まちづくり室				景観重要公共施設指定要件及びガイドラインの設定	指定に向けた事前調整	景観重要公共施設指定				○		3
2)街なみや景観に潜在する魅力の発掘・保全、新たな魅力の創出																
①古民家の調査や利活用の方策の検討等を行う																
		古民家修景調査業務委託	本市は都市化の進展に伴い、地域固有の景観資源のひとつである古民家が消失していることから、市内の古民家調査を行うとともに古民家の利活用の方策検討を行う。	景観まちづくり室			調査検討	基本設計	実施設計	整備工事			○		沖縄らしい風景づくり推進事業	3
②緑化の保全や緑化の推進を実践する																
		浦添グスク周辺緑化推進事業	沖縄らしい景観を形成するため、市民と協働で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。	美らまち推進課			緑化等			緑化等			○		沖縄らしい風景づくり推進事業	4
目標4：協働による景観まちづくり活動の推進																
1)市民へ景観まちづくりの普及啓発や地域等の自主的な取り組み活動の支援																
①市民を対象に風景づくり講演会等を開催し、景観まちづくりの理解や意義等の普及啓発活動を進める																
		浦添市風景づくりフォーラム等開催等啓発事業	浦添の風景づくりについて市民とともに考え、市民・行政・専門家による地域力を活かした景観まちづくりをより一層推進するため、フォーラムやシンポジウム等を開催する。	景観まちづくり室				景観フォーラム			シンポジウム開催		○		【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	2

3.現計画の点検・評価

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価
目標4：協働による景観まちづくり活動の推進																
1)市民へ景観まちづくりの普及啓発や地域等の自主的な取り組み活動の支援																
②浦添の自然、文化を活かし、地域の美しい風景を守り、育て、創造する自主的なまちづくり活動を支援する																
		まちづくり活動支援	浦添の自然、文化を活かし、地域の美しい風景を守り、育て、創造するまちづくり活動について、市民が自ら考え、行動する活動を行うNPO団体等に活動助成を行う。	景観まちづくり室			活動助成					○			沖縄らしい風景づくり推進事業	2
③自主的な花と緑いっぱい活動に必要な物的支援や花と緑の拠点整備を推進する																
		浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業	浦添市を訪れる観光客が、快適に浦添市内の観光地巡りができるよう、花と緑いっぱいの都市環境づくりを図る。 ①都市環境づくり(うらそえ美らまちサポーター事業) ②街なみ整備(花と緑のまちづくりフェスタ事業) H25: 苗木配布 H26～H28: 苗木配布・拠点整備	美らまち推進課	<実施設計> 1件 <街なみ拠点施設の整備> 1箇所 <環境づくり拠点の活用団体への補助> 30団体7,000本	1件	1件	1件	1件	1件		○			関連パッケージ事業(あまくま歩っちゃん推進事業)	2 ※事業名が変わって継続中
④景観行政を担う人材の育成や他地域の景観まちづくりの研修等に参加する																
		景観行政推進県外派遣	景観行政を担う人材育成や本市の景観まちづくりに活かすため、県外における景観まちづくりの先進地事例研修等を行う。	景観まちづくり室			県外派遣						○		沖縄らしい風景づくり推進事業	2

景観計画や行動計画で位置付けた目標、指標、基本方針、施策体系、施策内容、推進プログラム等

景観計画や行動計画(施策)の進行管理を行う																
事業名	事業概要				担当課	H24	H25	H26	H27	H28	H29～H33	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考	評価
景観向上行動計画策定業務委託	風景づくり推進事業における景観にかかる体系及び成果目標を示し関係部署との連携を図り横断的なアクションプランを作成する。また、行動計画で位置づけた施策等について、見直しや事業評価等を行う。				景観まちづくり室	方向性検討	計画策定			見直し業務と事業評価		○			【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	1
浦添市景観白書の作成	浦添市景観向上行動計画で位置づけた施策や景観計画(見直し)にむけて、浦添の景観がどのように保全・再生・創造されているのか、さらに、近年の景観政策がどのような影響を与えているのかなどを様々な角度から検証(街なみや建造物の様子や変化、申請件数の推移、市の取り組み、土地の価格や住宅の着工の動向、市民意識の変化、景観まちづくり活動団体の取組等)等を行い、その取りまとめを行う。				景観まちづくり室					白書作成	データ集の作成・更新	○			【新規】沖縄らしい風景づくり推進事業	4

3.現計画の点検・評価

- 目標1については、目標値を達成しているが、その他の目標については目標値より低い結果となった。

目標	指標名	単位	定 義	従前値	目標値	現況値	参考資料
				基準年 平成24年度	目標年 令和3年度		
目標1	景観地区等の 地区指定数	地区	景観法に基づく景観地区若しくは都市計画法に基づく高度地区または地区計画の地区指定数	0地区	2地区	2地区 県道浦添西原線沿線地区 (平成27年度) 西海岸景観地区 (令和3年度)	浦添市景観まちづくり計画(令和4年度) 都市計画図書
目標2	ウォークラリー参加人数	人	「尚寧王の道」を活用した浦添グスクから首里城までのウォークラリーイベントへの参加人数	178人/日	250人/日	160人/日 (令和5年度)	うらおそい歴史ガイド友の会事業報告書 (平成30年～令和4年)
目標3	景観重要公共施設の指定数	施設	景観法(第8条第2項第5号)に基づく景観重要公共施設の指定数	0施設	2施設	1施設 県道浦添西原線 (平成28年度に決定)	浦添市景観まちづくり計画(令和4年度)
目標4	まちづくり活動支援の団体数	団体	浦添市景観まちづくり活動支援事業を利用(市が認定)した団体	1団体/年	4団体/年	2団体/年 (令和5年度)	市提供資料
	カーミージー及びシリンカーで行っている環境学習プログラムを実施したことの小学校の数	校	うらそえ里浜ネットワーク実行委員会が主催するカーミージー及びシリンカーで行っている環境教育プログラムを実施したことの浦添市内の小学校数	1校(累計)	5校(累計)	1校 (令和5年度 港川小学校のみ)	市提供資料

4.現計画の取組状況と方向性

【現計画の取組状況と方向性】

計画の基軸

協働の景観まちづくり推進の強化

沖縄らしい風景づくりの推進

目標 1 浦添市にふさわしい街並み景観の形成

【基本方針の内容】	【取組状況と課題】	【取組の方向性】
1)浦添グスクの周辺にふさわしい街なみ景観の形成	基本方針1以外の事業は全て完了 基本方針1の事業について、継続している事業は、中長期的な取組みであり、今後も継続して取組む必要がある。 中断中の事業について、対象地域の状況に応じて今後の方針の検討が必要である。	継続中の事業に関しては、中長期的な事業として位置づけを行い、中長期的な取組みの方向性を示す。 中断中及び未着手の事業に関しては、事業の対象地域の状況等を把握し、今後の取組の方針検討等の方向性を示す。
2)浦添の西海岸にふさわしい街なみ景観の形成		
3)屋外広告物等の景観阻害要因の抑制		
4)良好な景観形成に関する調査研究等の促進		
5)総合的で計画的な緑地保全及び緑化推進		
6)総合的で計画的な景観まちづくりの推進		

目標 2 地域住民による地域への愛着の向上と来訪者の利活用の向上

【基本方針の内容】	【取組状況と課題】	【取組の方向性】
1)浦添のシンボル(魅力)の向上	長期的な取組みとして、今後の沿道植栽や夜景ライトアップの取組等が検討されており、今後も継続して取組む。 継続中の事業が多く、個別事業計画での検討などが予定されている文化財の清掃、除草や歴史・文化ガイダンス事業(現在は浦添城跡ガイダンス施設管理事業に変更)など、来訪者が安全・安心に地域の歴史文化を体験できる環境整備等を優先的に実施することが望まれる。	継続中の事業は、中長期的な事業として位置づけを行い、中長期的な取組みの方向性を示す。 来訪者に対応した取組みについては優先的に取り組む。
2)地域固有の資源(歴史・文化、自然等)を活かした連続性・周遊性の確保		

目標 3 地域の魅力を活かし、公共事業等を通じた創造的なまちづくり

【基本方針の内容】	【取組状況と課題】	【取組の方向性】
1)浦添グスク周辺や西海岸にふさわしいシンボル(道路や拠点施設等)の景観整備や賑わい・交流空間の創出	継続・中断・未着手の事業について、関係機関の事業などと連携し、今後の事業の方向性を検討する必要。 本市に多くの来訪者を呼び込む新たな魅力向上に関する事業については、事業の進め方を含め今後の方向性を検討する必要。	庁内の関係部署や関係機関と連携した今後の事業の方向性の検討。
2)街なみや景観に潜在する魅力の発掘・保全、新たな魅力の創出		

目標 4 協働による景観まちづくり活動の推進

【基本方針の内容】	【取組状況と課題】	【取組の方向性】
1)浦添グスク周辺や西海岸にふさわしいシンボル(道路や拠点施設等)の景観整備や賑わい・交流空間の創出	各事業とも、地域住民や行政職員の人材育成、景観に関する意識向上等につながる等の効果が出ており、長期的な取組みとして望まれる。	中長期的な事業として位置づけを行い、中長期的な取組みの方向性を示す。

【新たな取組みの視点】

自然・歴史に関する分野

- 新たに追加すべき施策や事業(案)
 - ・浦添市を訪れる観光客等を対象に市のHPやSNS等を活用した地域の眺望景観の発信等。
- 強化・継続すべき施策や事業(案)
 - ・市の景観形成における重点地区などの環境整備の拡充。
 - ・NPOなどの外部団体と連携したイベントやガイドツアー等の情報発信強化。

地域の特性等に関する分野

- 新たに追加すべき施策や事業(案)
 - ・まちづくりの動向(牧港補給地区等)とあわせた景観計画の改訂等。
 - ・浦添グスク風景づくり先導地区認定に伴う公共空間の景観形成
- 強化・継続すべき施策や事業(案)
 - ・浦添グスク周辺地区や文化資源等、来訪者を受け入れる環境整備。
 - ・グスク周辺地区や文化資源等の環境整備とあわせた緑化の推進等。
 - ・浦添グスクの世界遺産追加登録に向けての「歴史まちづくり法」の活用による景観づくりの検討

生活空間や公共空間等に関する分野

- 新たに追加すべき施策や事業(案)
 - ・市の夜景に関する情報発信等。
 - ・周辺環境との調和に配慮した公共空間や施設の整備。
 - ・歩行者等が楽しめる通り景観の形成。
 - ・事業中である港川周辺エリアにおける公共空間の良好な景観の形成
- 強化・継続すべき施策や事業(案)
 - ・住民が主体となった景観まちづくりの取り組み(まちなみを活かした花植えや美化活動、夜間景観の演出、地域の勉強会や広報など)。
 - ・街路樹等の維持管理及び更新等による沿道景観の形成。
 - ・景観と調和のとれたサイン等の検討の勉強会や広報など。
 - ・浦添風景づくり先導地区の道路修景計画

人材育成や意識向上に関する分野

- 強化・継続すべき施策や事業(案)
 - ・市民等への継続的な景観に対する意識向上につながるフォーラム等の実施。
 - ・沖縄県や関係団体等と連携した景観まちづくり学習等の推進。
 - ・浦添グスクや歴史資源や自然環境など、地域の魅力を再認識する機会の創出や活動団体への支援等。
 - ・市内部推進委員会と外部関係団体との連絡協議会の設置

改定計画の基本方針

上位関連計画等(沖縄風景づくり行動計画、浦添市総合計画、景観まちづくり計画)、浦添市の現況

5.現状と動向を踏まえた課題

現計画の点検・評価及び関連計画等を踏まえた課題について以下の通り整理します。

①浦添市の骨格的な資源（自然・歴史・文化等）による景観の形成

- ・ 浦添城跡から北西へ延びる丘陵地を軸として、西海岸に向けて傾斜し、海に開いている一体的な地形構造の上にある、自然海岸や自然緑地などの景観は浦添市を特徴づける大きな魅力となっています。
- ・ つくり、守り、育ててきた本市の景観を次世代に継承していくとともに、本市を訪れる来訪者にその価値が共有されるような浦添らしさを活かした景観まちづくりにこれまで以上に取り組む必要があります。

②地域資源を活かした魅力ある景観の形成

- ・ 地域には、御嶽・拝所・樋川・井戸など、その地域の歴史・文化を物語る地域資源が存在します。
- ・ 本市の歴史・文化を後世に継承するとともに、市域に残る歴史・文化資源を活かした魅力ある景観の形成がひきつづき必要です。

③公共空間の整備や新たなまちづくりの動向等と連携した景観の形成

- ・ 那覇港浦添ふ頭地区の今後の土地活用や今後返還が予定されている駐留軍用地（牧港補給地区）のまちづくりの動向を踏まえ、西海岸ウォータースタイルフロントに相応しい魅力ある景観をさらに向上させる必要があります。
- ・ 景観的に重要な道路等の公共空間において、良好な景観づくりを進めていくためには、景観デザイン検討実施し、それに基づく整備に取り組む必要があります。

④景観まちづくりへの意識向上

- ・ 本市では、「浦添市まちづくりプラン賞」を設けて、市民参加によるまちづくりの活動を表彰・助成しながら、市民・事業者の景観まちづくりへの意識向上を図る取り組みを進めています。また、定期的に景観に関するフォーラムや講演会等を開催し、情報発信や人材育成などに取り組んできました。
- ・ 良好な景観形成には、市民や事業者が身近な景観に関心を持ち、守り、育て、次世代につなげていくことが重要であり、今後も行政職員はもとより市民や事業者の景観に対する意識の向上を図る必要があります。

⑤協働・共創による取組体制の構築による着実な計画の実行

- ・ 現計画に位置づけられた数々の取組は、道路、公園・緑地、文化財、都市計画、観光、防災など、各分野の中で取組が推進されてきました。今後も、多様な関連施策と連携した総合的な景観施策の展開が必要です。
- ・ 現計画策定時に計画を着実に実施していくために関係機関や有識者で構成される「ウラオソイ風景づくり連絡協議会」の設置を位置付けましたが、開催できていない状況となっています。
- ・ 協働・共創により景観まちづくりを推進していく上でも、計画を着実に実行していく体制の在り方を検討する必要があります。



目標1：浦添市の骨格となる自然・歴史の景観形成
目標2：浦添市の地域特性を活かした景観形成

目標3：公共空間の魅力を高める景観形成
目標4：協働共創による景観まちづくりの更なる推進

6.新行動計画の目標及び基本方針等について

目標

基本方針

施策等

目標1:浦添市の骨格となる
自然・歴史の景観形成

1)浦添グスクを核とした歴史の景観形成

施策:浦添グスク周辺地区や文化資源等、来訪者を受け入れる環境整備

- ①浦添グスク修景事業
- ②歴史の道石畳舗装
- ③看板設置(文化財等説明板設置等)
- ④ありんくりんクリーン事業

施策:住民や観光客等への景観情報の発信等

- ①市のHPやSNSを活用した景観情報の発信(夜間景観など)

2)緑や水辺、地形を活かした景観形成

施策:グスク周辺地区や文化資源等の環境整備

- ①アデラガ(あでら川)の文化資源整備
- ②前田・真地の普天間権現等の普天満グァーの文化資源整備
- ③井の大人川及び夫婦川の文化財整備
- ④浦添グスクから首里城を結ぶ歴史の道の文化財整備
- ⑤浦添市ティードヌファみどり計画に準じた市内全域の緑地の維持保全及び緑化の推進

目標2:浦添市の地域特性を
活かした景観形成

1)地域の歴史・文化資源を活かした景観形成

施策:周辺環境との調和に配慮した公共空間や施設の整備

- ①カーミージーの海浜公園整備事業
- ②沖縄らしい文化的住宅ストック(古民家等)修景調査業務委託
- ③景観重要公共施設の指定(県道浦添西原線等)
- ④市内の墓地や霊園の整備・緑化推進
- ⑤「風景づくり先導地区(浦添グスク周辺)」・「風景づくり促進地区(西海岸景観地区)」の認定に伴う良好な景観の形成

2)市街地のまちなみ景観形成

施策:市の景観形成における重点地区などの環境整備の拡充

- ①まちなみ景観支援
- ②風景づくり推進調査業務委託
(シンボルロード・都市モノ沿線地区等と仲間・安波茶地区等)

施策:街路樹等の維持管理及び更新等による沿道景観の形成

- ①浦添市内の沿道景観の形成
- ②道路の無電柱化推進事業

黒:継続する取組
青:新規で行う取組

6.新行動計画の目標及び基本方針等について

目標

基本方針

施策等

目標3:公共空間の魅力を高める景観形成

1)沿道や駅周辺、拠点施設等の公共空間の景観形成

施策:沿道等の公共空間の魅力を高める空間整備

- ①前田線153号取付部擁壁修景
- ②茶山中通り美装化事業
- ③沢岨石嶺線1号トンネル(仮称)及び沢岨石嶺線2号トンネル(仮称)壁面緑化等の修景
- ④浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業
- ⑤景観に配慮した市の公共サインの適正化
- ⑥「風景づくり先導地区(浦添グスク周辺)」・「風景づくり促進地区(西海岸景観地区)」内の道路等の修景

2)駐留軍用地及び周辺のまちづくりと一体となった景観形成

施策:まちづくりの動向(牧港補給地区等)にあわせた景観計画の改訂等

- ①駐留軍用地及び西海岸地区のまちづくり

目標4:協働共創による景観まちづくりの更なる推進

1)景観まちづくりへの意識向上や地域等の自主的な取り組み活動の支援

施策:市民等の景観に対する意識向上につながるフォーラム等の継続的な実施

- ①浦添市風景づくりフォーラム等開催等啓発事業

施策:地域の魅力を再認識する機会の創出や活動団体への支援等

- ①まちづくり活動支援
- ②浦添城跡ガイダンス施設管理事業
- ③浦添市緑化推進事業

2)景観まちづくりを円滑に進めるための取組

施策:沖縄県や関係団体等と連携した景観まちづくりの推進

- ①景観行政推進県外派遣
- ②景観評価システムの導入

黒:継続する取組

青:新規で行う取組

7. 各目標を達成するための推進プログラム

・ 新行動計画の推進プログラム及び計画期間(R6d~R15d)

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	主務課	担当課	R6	R7	R8	R9	R10	R11~	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考
目標1：浦添市の骨格となる自然・歴史の景観形成																
基本方針1) 浦添グスクを核とした歴史の景観形成																
①浦添グスク周辺地区や文化資源等、来訪者を受け入れる環境整備																
	浦添グスク修景事業	世界遺産追加登録を目指す浦添グスクの魅力向上を図るため、城壁等の検討調査、実施設計、工事等や、夜景ライトアップを開催する。また、官民連携を図りライトアップ等の実施場所の拡大を検討する。	文化財課	美らまち推進課	夜景ライトアップを定期的に開催する。(文化の田)									○		
	歴史の道石畳舗装	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道(歴史の道)の石畳敷設や文化財等説明板設置を今後検討する。	文化財課	道路課	事業が一時中断しているため、今後、検討予定。									○		
	看板設置(文化財等説明板設置等)	浦添グスクから首里城を結ぶ尚寧王の道(歴史の道)の石畳敷設や文化財等説明板設置を今後検討する。	文化財課	観光振興課	事業が一時中断しているため、事業計画を策定し、今後、検討予定。									○		
	ありんくりんクリーン事業	史跡浦添城跡などの城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するため、文化財の清掃・除草、安全対策等の環境整備を行う。	文化財課		今後、優先的に実施すべき事業である。文化財の清掃・除草を行い、来訪者が安全・安心に見学できるような環境づくりを行う。									○		
②住民や観光客等への景観情報の発信等																
	市のHPやSNSを活用した景観情報の発信(夜間景観等)	HPやSNSを利用した、市についての情報や、景観(夜間景観等)に関する情報発信を行うほか、市と協力している関係団体についての情報を掲載する。	美推課	文化財課 観光振興課等	情報収集 → HP等の開設 → 情報公開 →									○		
基本方針2) 緑や水辺、地形を活かした景観形成																
①グスク周辺地区や文化資源等の環境整備																
	アデーラガー(あでら川)の文化資源整備	アデーラガー(あでら川)は沢岬小学校北側から浦添工業高校へ広がる緑地(浦添南第二地区の区画整理事業区域内)に位置し、周辺の都市緑地と整合性を図りながら、調査・検討を行う。	区画整理課	文化財課	道路 宅地の整備及び移転補償等									○		
	前田・真地の普天満権現等の普天満グァーの文化資源整備	平成20年の普天満グァーの文化的価値に関する調査等を踏まえ、浦添南第一地区の区画整理事業区域内等における文化資源(普天満グァー)の調査・検討を行う。	区画整理課	文化財課	当該箇所周辺の墓地街路の整備									○		

7. 各目標を達成するための推進プログラム

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	主務課	担当課	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考
			井の大人川及び夫婦川の文化財整備	浦添南第一地区の区画整理事業区域内等における地域の文化資源（湧水・村ガー等）の調査・整備を行う。	区画整理課		設計検討	設計検討 補償調査	移転補償		道路築造 整地工事	文化資源 の整備		○		
			浦添グスクから首里城を結ぶ歴史の道の文化財整備	浦添市から首里城を結ぶ歴史の道について、周辺の文化財の整備や管理を行う。	文化財課	ウラオソイ歴史ガイド友の会	赤皿ガーの整備工事							○		
			浦添市ティーダヌファームみどり計画に準じた市内全域の緑地の維持保全及び緑化の推進	令和2年度に策定した「ティーダヌファームみどり計画（改定版）」に準じた公園緑地及び道路における緑地の維持保全及び緑化の推進、河川における緑地の維持保全。景観まちづくり計画による景観計画区域内の宅地における緑地の維持保全及び緑化の推進の誘導。	美らまち推進課	美推課 道路課							○			

目標2：浦添市の地域特性を活かした景観形成

基本方針1）地域の歴史・文化資源を活かした景観形成																
①周辺環境との調和に配慮した公共空間や施設の整備																
			カーミージーの海浜公園整備事業	浦添市港川周辺の自然海岸（通称・カーミージー）を生かした公園を整備する。	美推課 公園みどり係		用地買収	拠点施設 整備	拠点施設 外構整備						○	
			沖縄らしい文化的住宅ストック（古民家等）修景調査業務委託	浦添市全域（軍用地を除く）を対象に、基礎的情報の整理・考察及び取り組みの方向性を探ることを目的に古民家の実態調査・修景対象の検討を行ったものの、実態調査対象の古民家は解体されている。今後は、市内の住宅景観資源の整備支援や維持保全の促進を目的として、自治会等と意見交換を実施し対象の景観資源を検討する。	景観まちづくり係		沖縄らしい文化的住宅ストック（古民家等）の整備支援及び維持保全の促進に向けた取り組み						○			
			景観重要公共施設の指定（県道浦添西原線等）	H28年9月30日に県道管理者との協議の下、県道浦添西原線（JAおきなわ浦添支店～浦添消防署付近）の区間を景観重要公共施設に位置付けている。	景観まちづくり係	区画整理課			事業進捗に応じて開催					○		
			市内の墓地や霊園の緑化計画の検討	浦添市内の墓地や霊園について、需要調査を行いその結果を基に、規制範囲の拡大や緑化計画の検討を行う。	環境保全課	都市計画課		需要調査	規制範囲の拡大と緑化計画の検討					○		
			風景づくり先導地区（浦添グスク周辺）・風景づくり促進地区（西海岸景観地区）の認定に伴う良好な景観の形成	先導・促進地区内の公共事業について、景観重要公共施設の指定を検討する。	景観まちづくり係	都市計画課 道路課等			景観重要公共施設の指定及び公共事業における景観デザインの実施、それに基づく景観整備					○	○	

7. 各目標を達成するための推進プログラム

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	主務課	担当課	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	市全体	グスク周辺	西海岸及び港川周辺	備考
基本方針2) 市街地のまちなみ景観形成																
①市の景観形成における重点地区等の環境整備の拡充																
		まちなみ景観支援	重点地区や景観地区等の地区（仲間、茶山、前田等）におけるまちなみの向上を図るため、屋根瓦、石積み・石張り、生垣等の助成金支援を行う。	景観まちづくり係					助成金の支援					○		
		風景づくり推進調査業務委託（シンボルロード・都市モノ沿線地区等と仲間・安波茶地区等）	景観法や都市計画法に基づく景観地区や地区計画等の地区指定にむけて、地域住民によるワークショップや協議会等を通して、沿道景観のあり方や浦添グスクにふさわしい風景づくりについて検討等を行う。 また、浦添グスク周辺については、グスクの世界遺産の追加登録を目指して「歴史まちづくり法」の活用による景観づくりについても検討を始めていく。	景観まちづくり係	文化財課	浦添前田駅周辺地区 景観地区指定	前田北地区 景観施策検討	前田北地区 景観地区等 検討	県道浦添西原線（安波茶交差点～浦添警察署） 景観施策検討	浦添西原線沿線地区 景観施策検討				○		
									仲間重点地区の景観地区指定の検討※現時点保留							
									浦添グスク周辺：歴史まちづくり法活用に係る景観検討							
②街路樹等の維持管理及び更新等、また無電柱化の推進による沿道景観の形成																
		浦添市内の沿道景観の形成	浦添市内の道路（シンボルロード含む）について、街路樹等の維持管理及び更新等による沿道の景観形成を行う。	景観まちづくり係	都市計画課 道路課				街路樹等の調査・整備の検討					○		
		目標3：公共空間の魅力を高める景観形成	国際センター線や沢岬石嶺線の無電柱化事業を進めている。今後は、沖縄県緊急輸送道路に位置付けられた市道や他市道についても無電柱化を進めていく予定である。	道路課	区画整理課				整備					○		
目標3：公共空間の魅力を高める景観形成																
基本方針1) 沿道や駅周辺、拠点施設等の公共空間の景観形成																
①沿道等の公共空間の魅力を高める空間整備																
		前田線153号取付部擁壁修景	前田線153号取付部の擁壁について、前田公園から見える箇所は、公園との調和がとれるよう修正整備の検討を行う。	美推課 公園みどり係	区画整理課	前田線橋梁 詳細設計	周辺擁壁等 設計	橋梁工事 （下部工）	橋梁工事 （上部工）	周辺道路 築造工事	県道153号 取付部 擁壁工事					
		茶山中通り美装化事業	浦添グスクの麓になる茶山地区の街なみの向上や地域の要望については、浦添前田駅周辺地区や前田北地区の取り組み完了後に、茶山地区の中通り（地域のシンボルロード）の美装化等の構想・計画・実施・整備の検討を行う。	美推課 景観まちづくり係	美推課 道路課				美装化等の構想・計画・整備の検討					○		

7. 各目標を達成するための推進プログラム

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	主務課	担当課	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	市全体	グスク 周辺	西海岸 及び港 川周辺	備考
			沢岬石嶺線 1 号トンネル（仮称）及び沢岬石嶺線 2 号トンネル（仮称）の壁面緑化等の修景	沢岬石嶺線は、国道330号と県道153号線を結ぶ、延長1233m、幅員30mの幹線道路で一部供用開始。当路線にはトンネルが2箇所（南第二地区区画整理事業区域内）あり、1号トンネルの延長は137m、2号トンネルの延長は331mとなり、共に上下2車線のために「メガネトンネル」の形態となる。沖縄らしい風景を守るため、トンネルの修景整備（計4カ所）の検討を行う。	区画整理課	美推課 景観まちづくり係	沢岬石嶺線全体の景観整備構想を踏まえ、トンネル等の修景実施検討を行い、整備を進めていく。									
			浦添グスク周辺風景づくり先導地区内の道路等の修景	先導地区内で整備中の路線等について修景の検討を行う。	区画整理課	景観まちづくり係	グスク周辺の国際センター線（市景観まちづくり計画での景観重要候補）、前田 1 号線等について、修景実施検討を行い、整備を進めていく。						○			
			「西海岸及び港川周辺エリア」の良好な景観の形成	事業中である「港川周辺エリア」における景観重要公共施設の指定の検討、及び良好な景観の形成	景観まちづくり係	都市計画課 道路課	「港川周辺エリア」内の景観重要公共施設の指定と、それに基づく景観デザインの実施による良好な景観の形成								○	
			浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地区において、賑わいの創出と来訪者・地域住民との交流機会を可能とする観光交流拠点施設を形成することで、観光関連産業による地域経済の活性化を図る。	観光振興課	文化財課 景観まちづくり係	事業期間							○		
			景観に配慮した市の公共サインの適正化	市内の公共サインについて、景観に配慮したデザインや内容等、市の景観に準じたサインの適正化を進める。また、市の文化財についての看板や公共サインの設置も検討する。	景観まちづくり係	観光振興課 文化財課	設置計画毎に調整						○			
基本方針2）駐留軍用地及び周辺のまちづくりと一体となった景観形成																
	②まちづくりの動向（牧港補給地区等）にあわせた景観計画の改訂等															
		駐留軍用地及び西海岸地区のまちづくり	本市の西海岸地区は「第五次浦添市総合計画」において、多様な地域資源として活用する等、内外の人の交流促進を目指し「新規産業の拠点形成及び都市近郊リゾートの形成」を掲げている。	跡地未来課	港湾課 文化財課 公園みどり係	主務課等と連携しながら、準備が整ったエリアから順次、調査や計画立案を進めていく								○		
目標4：協働共創による景観まちづくりの更なる推進																
	基本方針1）景観まちづくりへの意識向上や地域等の自主的な取り組み活動の支援															
	①市民等の景観に対する意識向上につながるフォーラム等の継続的な実施															
		浦添市風景づくりフォーラム等開催等啓発事業	浦添の風景づくりについて市民とともに考え、市民・行政・専門家による地域力を活かした景観まちづくりをより一層推進するため、フォーラムやシンポジウム等を開催する。	区画整理課	景観まちづくり係	毎年開催を検討						○				

7. 各目標を達成するための推進プログラム

目標	基本方針	施策内容	事業名	事業概要	主務課	担当課	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	市全体	グスク 周辺	西海岸 及び港 川周辺	備考	
		②地域の魅力を再認識する機会の創出や活動団体への支援等															
			まちづくり活動支援	浦添の自然、文化を活かし、地域の美しい風景を守り、育て、創造するまちづくり活動について、市民が自ら考え、行動する活動を行うNPO団体等に活動助成を行う。	景観まちづくり係					今後も継続・実施				○			
			浦添城跡ガイダンス施設管理事業	国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、ガイダンスの充実化を図る。具体的には展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史・文化に関する情報発信を行う。	文化財課		展示替え	文化財ガイドブック作成	展示替え	文化財ガイドブック作成	展示替え	文化財ガイドブック作成		○			
			浦添市緑化推進事業	浦添市を訪れる観光客が、快適に浦添市内の観光地巡りができるよう、花と緑いっぱいの都市環境づくりを図る。 ①都市環境づくり(うらそえ美らまちサポーター事業) ②街なみ整備（花と緑のまちづくりフェスタ事業）	公園みどり係				苗・草花・肥料等配布					○			
	基本方針2）景観まちづくりを円滑に進めるための取組																
		①沖縄県や関係団体等と連携した景観まちづくりの推進															
			景観行政推進県外派遣	景観行政を担う人材育成や本市の景観まちづくりに活かすため、県外における景観まちづくりの先進地事例研修等を行う。	景観まちづくり係				今後も継続・実施								
			景観評価システムの導入	浦添市の公共公事に、景観評価システムの導入を検討し、実施する。	景観まちづくり係		導入の検討		試験的実施		導入		○				
			浦添市景観向上行動計画推進委員会	市関係課等の合意形成や連絡体制を構築し、本計画が中長期的に実効性の高い計画となるよう関係課長等からなる委員会を設置する。	景観まちづくり係			毎年度開催		見直し業務 中間取り纏め	毎年度開催						
			ウラオソイ風景づくり連絡協議会	各部署や関係団体と連携して進めていくために、市関係課に加え関係機関及び有識者等からなる委員会を設置する。	景観まちづくり係			5年周期で開催もしくは適宜開催		見直し業務 中間取り纏め	5年周期で開催もしくは適宜開催						

8.目標を定量化する指標の設定

現計画における「目標を定量化する指標」の見直しを行った。

本計画の進行管理を行うため、施策内容の実施により得られる効果や施策の実施状況を目標指標として再設定した。

目標	指標名	単位	定義	従前値	目標値
				基準年 令和5年	目標年 令和15年
目標 1	①浦添市内の整備を行った文化財	箇所	浦添市で認定されている文化財(有形文化財及び史跡)について、令和6年以降整備を行った文化財	0箇所	2箇所
	②市のHPや広報誌、SNSでの、浦添グスクや文化資源、市の景観等に関する情報発信数	件数	浦添市のホームページや広報誌、SNSにて取り上げた浦添グスクや市内の文化財、景観に関する記事について、月間・年間の件数	0件	1件/月 12件/年
目標 2	①市内の景観修景事業の件数	件数	浦添市内の文化資源(古民家や墓地含む)の整備や修景事業の件数	0件/年	2件/年
	②無電柱化整備の総延長	km	市内で進めている無電柱化の施策に対して、整備を行った道路(沢岬石嶺線や国際センター線等)の総延長	約0.22km	約1km
目標 3	①前田駅周辺の公共空間整備事業の件数	件数	前田駅周辺における公共空間の景観形成(修景事業、公共サイン等)を行う事業の件数	1件	5件
	②西海岸を中心とした整備事業の件数	件数	駐留軍用地やその周辺のまちづくりと一体となるような景観形成を行う事業の件数	0件	5件
目標 4	①景観評価システム導入に基づく事業件数	件数	景観評価システムの導入に基づく事業の件数	0件	5件

9.計画推進のための組織づくり

本計画で掲げた施策を着実に実施し計画の目標を実現するため、次の基本的考え方に基づき、本計画を推進するための組織体制を構築する。

基本的な考え方

計画を推進するためには、景観分野のみならず、道路、公園・緑地、文化財、都市計画、観光等の多分野との連携が欠かせないため、関係団体や各部署と連携して進めることが重要である。このため、関係部署で構成する組織と関係機関及び有識者等で構成する組織の二元体制とし、これらの組織が相互に情報共有と連携を図り、計画の推進に関する情報が市民等に広く共有できるような仕組みを構築する。

計画を推進するにあたっては、社会情勢や市内におけるまちづくり等の動向を把握しながら、計画の進捗状況を定期的に確認、点検し、関係部署や関係機関と共有することにより、景観まちづくり施策に資する組織づくりを推進する。

【浦添市景観向上行動計画の進捗管理体制】

浦添市景観向上行動計画推進委員会

(構成)

浦添市景観向上行動計画推進委員会（以下「委員会」という。）は、庁内関係課の課長及びこれに相当する職にある者を委員として構成する。

(役割)

委員会は、浦添市景観向上行動計画の策定に関し、これまで庁内の意思決定機関（浦添市景観向上行動計画検討委員会）としての役割を発展させ、計画の実現に向けた計画全体のマネジメント機能を担うものとし、具体的には次に掲げた役割を担うものとする。

- ・ 計画で示した施策の進捗状況の確認
- ・ 計画全体の点検及び評価の実施
- ・ 計画の変更（上位関連計画の改定等が行われた際は本計画も必要に応じて整合を図る）
- ・ 施策の推進にあたっての重要事項の検討
- ・ 計画の広報並びに計画に掲げた目標の実現及び施策を展開していく上で必要な事項の実施

(開催時期)

- ・ 委員会は、毎年度開催する。

(下部組織)

作業部会

- ・ 委員会に上程する議題及び報告する内容等を整理するための組織として、委員会の下に関係係長を構成員とする作業部会を設置する。
- ・ 作業部会では、委員会で議論するための実務的な検討を進めることになるが、特に施策の評価に関する事項、各分野での取組動向の情報収集等の実務的な検討、議論を進めるものとする。

ウラオソイ風景づくり連絡協議会

(構成)

ウラオソイ風景づくり連絡協議会（以下「協議会」という。）は、関係機関、有識者等で構成する。

(役割)

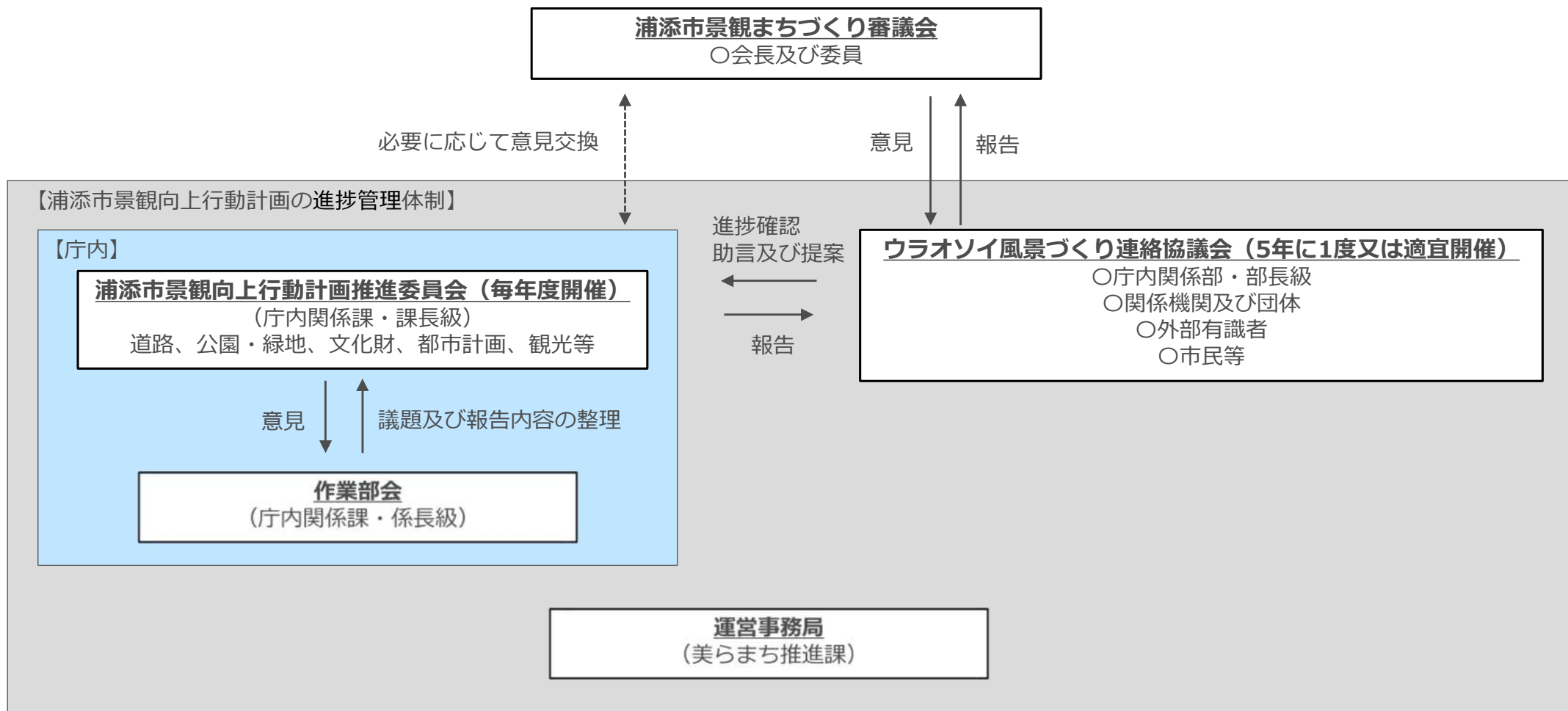
- ・ 協議会は、次に掲げた役割を担うものとする。
- ・ 計画で示した施策の進捗状況の確認
- ・ 計画全体の点検及び評価の確認
- ・ 施策の実施に関する助言及び提案
- ・ 計画の変更に関する助言

(開催時期)

- ・ 5年周期で開催する。
- ・ 状況により適宜開催

9.計画推進のための組織づくり

浦添市景観向上行動計画推進委員会（以下「委員会」という）とウラオソイ風景づくり連絡協議会（以下「協議会」という）は、本計画で掲げた施策の進捗についての報告及び確認のため、定期的な連携を図り意見交換等を行うこととする。また、協議会から浦添市景観まちづくり審議会（以下「審議会」という）に対して施策の進捗についての報告を定期的に行うこととする。なお、必要に応じて審議会と委員会の意見交換の場を設けることとする。



各関連施策との連携と進捗確認の目的

- 計画に掲げた目標の実現に向けて、以下に示す基本方針に対応するための組織体制（前述の委員会）を構築し、各施策の着実な推進を図る。また、進捗確認の結果を踏まえて、本計画に基づき展開する施策等を改善するなど計画のフォローアップを行う。

各関連施策との連携と進捗確認の基本方針

- (1) 計画に掲げる施策の着実な実施を図る
 - 各施策の取組状況や課題を整理し、各関連施策の取組状況等と連携し、できる限り客観的な指標を用いて進捗確認することで着実な実施を図る。
- (2) 計画の目標の達成度合いを評価する
 - 本計画の目標毎の達成状況を評価することで、関係主体それぞれが進むべき方向性を共有するとともに、施策の実施がどの程度の効果をもたらしたかという視点に立った観点から施策を推進する。

進捗確認の対象

- 本計画で掲げた施策を対象に実施する。

進捗確認の実施時期

- PDCAサイクルの基本的考え方に準じ、概ね前年度末までの実績について、毎年度秋頃を目途に実施する。